

令和6年度事業計画

〔基本方針〕

ポストコロナ期に向け県と協働で策定した「観光羅針盤」を踏まえ、市町村や観光団体・会員企業等と連携し、DX時代に対応し、データに基づくマーケティングを踏まえた効果的な誘客事業を展開します。特に、本年秋の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」及び同時期に展開する観光キャンペーンと連動しながら、地域特性を生かした持続可能かつ高付加価値の観光コンテンツ開発と販売を推進します。また、本年の「瀬戸内海国立公園指定90周年」、来年の「大阪・関西万博」「瀬戸内国際芸術祭」を視野に、国内外への積極的な情報発信と誘客事業に取り組みます。

特産品振興では、観光分野と連携し県産品の魅力発信と販売促進に努めます。さらに、連盟法人化50周年記念事業を継続し、次世代を担う若年層に向けた企画を実施します。

〔重点事項〕

1 魅力ある観光商品づくりとプロモーション

森の芸術祭など本県の特性を生かした魅力ある高付加価値商品の開発と磨き上げを行い、DXを活用し国内外へ効果的に発信します。また、商談会や視察招致を通じて商品造成・販売を促進するとともに、助成金を活用し、教育旅行や団体宿泊旅行、訪日個人旅行の誘致に努めます。

2 多様な媒体を活用した国内外への情報発信

デジタルマーケティングを活用し、多様化するニーズに合わせた情報を岡山観光WEBやSNSにより、効率的かつ効果的に発信し、本県への滞在や観光消費を促進します。また、リニューアルした多言語サイトを活用し、海外向け情報発信の強化と訪日客向け観光商品の販売促進に取り組みます。

3 オンラインショップの活用と観光・物産の連携による特産品販売強化

オンラインショップやふるさと納税返礼品の取扱いにより、県産品の魅力発信と需要喚起に努めます。また、新たなニーズに合った県産品の開拓と高付加価値化、店舗の魅力アップを進めながら、岡山観光WEBの情報発信力も活用し、商品の魅力発信と販売促進を強化します。

4 フィルムコミッションとおもてなしの推進

フィルムコミッション活動では、県内の組織と連携し、積極的なロケ誘致を行うとともに、支援作品を活用した観光誘客に注力します。

また、インバウンドやポストコロナ期のニーズにマッチしたホスピタリティの向上に取り組むことにより、観光客の満足度アップとリピーターの増加を目指します。

令和6年度事業総括表

(単位:千円)

令和6年度予算総額 273,365千円 (414,916千円)

誘客受入事業 131,568 千円 (147,593 千円)			
Ⅰ	1	魅力ある観光商品づくりとプロモーション	32,928
	2	教育旅行の誘致	12,230
	3	インセンティブ活用による宿泊旅行促進	63,294
	4	フィルムコミッション活動	17,705
	5	コンベンションの誘致	1,927
	6	広域観光の推進	1,975
Ⅲ	1	ホスピタリティの向上と人材育成	1,089
	2	観光物産事業功労者等の表彰	420
誘客受入事業費合計			131,568

情報発信事業 51,220 千円 (65,465 千円)		
Ⅱ	1 デジタルマーケティングを活用した情報発信	41,157
	2 データプラットフォームの運用と活用	
	3 多様な媒体・パートナーと連携した観光PR	2,893
	4 総合的な観光案内業務の実施	7,170
情報発信事業費合計		51,220

物産振興事業 77,028 千円 (188,867 千円)			
IV	1	晴れの国おかやま館の運営	73,704
	2	オンラインショップによる販売強化	
	3	ふるさと納税返礼品事業の取扱い	
	4	伝統的工芸品振興事業	3,324
物産振興事業費合計			77,028

収益事業 1,899 千円 (1,794 千円)		
V	1 広告収益事業	1,204
	2 不動産管理事業	695
収益事業費合計		1,899

法人管理 11,650千円 (11,197千円)	
法人の管理運営	11,650

() 内は前年度当初予算

〔個別事業〕

I 誘客受入事業

1 魅力ある観光商品づくりとプロモーション

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」や観光キャンペーンとも連動しながら、高付加価値化を意識した観光素材の発掘と商品開発を行い、商品の磨き上げとDXを活用した販売促進に取り組む。また、マーケットの特性に応じたプロモーション活動を実施する。

（1）高付加価値商品の開発と販売推進

①高付加価値商品の開発

市場のニーズや専門家のアドバイスをもとに、県内各地の会員事業者等と連携して、地域の魅力を活かした高付加価値商品の企画開発を推進する。

②滞在型観光推進に向けたコンテンツ開発

森の芸術祭や観光キャンペーン等を契機に、アート・歴史・文化・イベント・自然・食・建築など、特色のあるテーマと地域資源を融合させた体験型コンテンツやアドベンチャーツーリズムの開発を推進し、滞在時間延長につなげる。

③個人向け商品プラットフォームを活用した販売促進

新たに導入した販売プラットフォーム（TXJ）を活用し、国内・海外に向けて、会員事業者等が開発した高付加価値商品や体験型商品の販売を促進する。

（2）旅行会社等へのプロモーション

訪問活動や視察招致、商談会を通じて、旅行会社の販売戦略の変化に対応したきめ細かいプロモーションを行い、観光キャンペーンや旅行者のニーズに応じた商品造成・販売を働きかける。

（3）イベント等を活用したプロモーション

①イベント等への出展

キャンペーン推進協議会と連携し、県内外で行われる観光イベント等へ参加し、プロモーション活動を行う。

②若年層に向けた岡山ファンづくり **新規**

次の世代に向け、本県への観光需要を創出するため、特に若年層に向けたプロモーションとファンづくりを民間事業者と協働で実施する。

2 教育旅行の誘致

旅行会社とも連携し、県内のコンテンツを活かした学習素材の開発、磨き上げを進める。また、市町村・観光協会・民間事業者等で組織する「岡山県教育旅行誘致推進協議会」を通じて、効果的な誘致活動に取り組む。

(1) 学習プログラムの開発・商品化・販売促進

教育指導要領に沿って、事前・事後の学習を含めたテーマ性のある学習プログラムを作成し、旅行商品として大手旅行会社のネットワークを活用し販売促進を行う。

(2) 訪問活動と新規開拓

本県への教育旅行実績がある首都圏、中京、京阪神エリアを中心に誘致活動を続けるとともに、データ分析により新たなターゲットの掘り起こしに努める。

(3) 台湾からの教育旅行誘致

日本政府観光局（JNTO）と連携し、説明会への参加や視察招致に取り組む。また、現地からのニーズが高い学校交流に対応可能な県内の高校の拡充に努める。

3 インセンティブ活用による宿泊旅行促進

(1) バス団体宿泊旅行等の促進

県からの助成金を活用し、県内外の旅行会社に働きかけ、観光バスによる団体旅行（教育旅行を含む）の需要喚起を図り、県内での宿泊と観光施設等の消費に結び付ける。

(2) 訪日個人旅行客のレンタカー周遊促進

県からの助成金を活用し、本県を訪れるインバウンド観光客に対し、レンタカー料金の一部を助成することで県内での宿泊と周遊を促進する。

4 フィルムコミッション活動

県内ロケのワンストップ窓口の役割を担う「岡山県フィルムコミッション協議会」の事務局として、映像制作会社等に対し、ロケの積極的な誘致と支援を行う。また、市町村のフィルムコミッション組織等と連携し、受入体制の強化、支援作品を活用した観光誘客を図る。

(1) ロケの誘致活動

①映像制作会社へのプロモーション

- ・ジャパンフィルムコミッション主催「全国ロケ地フェア」への出展
- ・在京制作会社等へのPR活動 など

②ロケ支援と助成

- ・ロケハンへの地元調整や同行案内及び経費の一部を助成
- ・撮影スタッフの交通費や宿泊費の一部を助成
- ・ロケ期間の雨天時に一定額を助成（どーしたんだ！晴れの国ロケ助成金）
- ・ロケ時の地元受入組織の炊出しに対する支援 など

（２）支援作品を活用した誘客活動

地域フィルムコミッションと連携し、ロケ支援を行った映画等のロケ地を、周遊マップや「岡山観光WEB」の特集ページ作成、イベント開催等によりPRし、ロケツーリズムを促進する。また、地元情報誌等の媒体を通じてファンづくりに努める。

（３）研修会の開催等

県内の地域フィルムコミッション活動のスキルアップ及び活性化を図るため、ロケ誘致やロケ支援に関する研修会を開催する。

5 コンベンションの誘致

岡山市・倉敷市と連携し、「国際MICEエキスポ」に出展するほか、コンベンションの誘致に必要な施設情報や県内観光情報の提供等を行う。

6 広域観光の推進

中国地域などの広域エリアを対象に、自治体や観光団体等と連携した、県境を越えた広域観光を促進する。

（１）近隣県との連携

①グルメを活用した周遊促進 **新規**

中国５県の観光連盟が連携し、公式観光サイトで各県の一押しグルメを紹介しながら周遊促進策を展開する。

②鳥取県との共同事業

岡山・鳥取両県及び鳥取県観光連盟と共同で、首都圏でのPR活動などを通じて両県への誘客を図る。

（２）広域観光推進組織との連携

- ・日本観光振興協会（本部・中国支部）
- ・せとうち観光推進機構（せとうちDMO）
- ・DISCOVER WEST 連携協議会
- ・中国地域観光推進協議会

Ⅱ 情報発信事業

1 デジタルマーケティングを活用した情報発信

多様化するニーズに合わせた情報を、デジタルマーケティングを活用し、「岡山観光WEB」をはじめ、多言語観光サイトやSNSで発信する。

また、令和7年度に予定しているサイトリニューアル事業に向け検討を進める。

(1) 国内向け情報発信

①岡山観光WEBの運営

- ・観光キャンペーン特設サイトでの企画紹介・誘導（7月中旬～）
- ・晴れの国おかやま館オンラインショップとの連携強化
- ・Yahoo! Japan タイムライン、ニュースアプリ「Smart News」、おでかけ旅行アプリ「aumo（アウモ）」との連携
- ・観光AIコンシェルジュによるモデルコース作成と最適ルート提案
- ・宿泊プランや体験・アクティビティの紹介とオンライン予約機能
- ・季節情報（開花、紅葉情報等）や旬の特集ページ
- ・地元ライターによる岡山の魅力紹介記事「おか旅」
- ・県民がおすすめする観光スポットやグルメの紹介記事
- ・専門家によるアクセス分析と情報戦略策定 等

②SNSの活用

フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどSNSの特性に合わせた情報を投稿し、本県への関心と来訪意欲が高いユーザーへ効果的にアプローチする。

③情報発信セミナーの開催

連盟会員をはじめ、観光振興に携わる方を対象に、WEBやSNS、動画等を活用した効果的な情報発信や集客方法、データ分析等について学ぶセミナーを開催しスキルアップに努める。

(2) インバウンド向け情報発信

①人気訪日観光メディアと連携した多言語サイトの運営 **新規**

訪日観光客に人気の高い大手WEBメディアと連携してリニューアルした多言語サイトを活用し、情報発信を強化するとともに、新たな旅行商品販売プラットフォーム（TXJ）により体験型商品等の販売を促進する。

②SNSの活用【県委託事業】

県の海外PRデスクとも連携し、SNSを活用して、話題性のある観光スポットや、旅行者の関心が高い体験・グルメ等の情報を、英語、韓国語、

中国語簡体字、中国語繁体字（台湾、香港）、タイ語、フランス語で発信する。

2 データプラットフォームの運用と活用

（１）データプラットフォームの構築・運用

「観光羅針盤」で連盟の役割とされた観光データプラットフォーム（DMP：国・県の動態調査や人流のデータ、各種事業の実績データ等进行分析・可視化し、県・市町村・観光関係者と共有するしくみ）を構築・運用し、県／地域レベルでの企画・戦略立案、事業見直しに役立てる。

（２）データ活用人材の育成

DMPを観光マーケティングに活用できる内部人材を育成するとともに、会員団体・企業においても人材育成・確保を図るため、研修会や勉強会を行う。

3 多様な媒体・パートナーと連携した観光PR

（１）市町村等との連携PR事業

①岡山観光WEBでのタイアップ

市町村・観光協会等とタイアップし、「岡山観光WEB」で特集ページやモデルコース等を作成し、連携して地域の魅力を発信する。

②観光コルトンの活用

本県の玄関口であるJR岡山駅前の地下道壁面に設置した電照パネル（観光コルトン）22面に、市町村等と共同で美しい景観や観光スポット等の写真を掲出し、県内各地のPRを行う。

（２）メディア等を活用した情報発信

①首都圏等のメディアへの取材協力

首都圏等のテレビや雑誌などに対して、情報提供及びロケ・取材に関する地元調整等を行う。

②地元メディアとの連携

岡山シティFM（レディオモモ）と連携し、県内各地域から直接情報を発信することにより、県内の観光を促進する。

（３）おかやま観光特使を通じたPR

岡山県ゆかりの方に観光特使を委嘱し、名刺の交付やメルマガでの定期的な観光情報提供により、各自の活動のほか、SNSや口コミでの情報発信を通じて、岡山のPRを図る。

4 総合的な観光案内業務の実施

電話やメール等での問い合わせ対応のほか、県内各地の観光パンフレットの収集・送付など観光情報の発信を行う。

また、おかやま観光コンベンション協会が運営するＪＲ岡山駅新幹線改札横の「岡山市ももたろう観光センター」と連携し、広域的な観光案内の充実を図る。

Ⅲ おもてなしの推進

市町村や観光関係団体・事業者等と連携し、インバウンドの増加やポストコロナ期の観光ニーズに対応した人材育成を通じて、ホスピタリティの向上に取り組み、観光客の満足度向上とリピーターの増加を目指す。

1 ホスピタリティの向上と人材育成

(1) おもてなしの実践と研修会の開催

観光キャンペーンと連動し、岡山観光サポーター（愛称「晴れシェルジュ」）の活動を支援するとともに、観光関係者向けの研修会や交流会を通じて、ホスピタリティの向上とおもてなし機運の醸成を図る。

(2) 観光ガイドの活性化と人材育成

①観光ボランティアガイドの活動支援

市町村や観光ボランティアガイド団体と連携し、連絡会議や研修会を開催することにより、活動活性化を図る。

②インバウンド向けガイドの育成

セミナーや研修会を通じて、需要が高まるインバウンドガイド人材の掘り起こしとスキルアップを行う。また、訪日旅行者のニーズに合わせたガイドを通訳とともにを行うローカルガイドを育成する。

2 観光物産事業功労者等の表彰

本県の観光及び物産振興に寄与し功労のあった方々や団体を定時会員総会で表彰するとともに、その業績等をウェブサイトを通じて紹介する。また、直近の表彰者の中から功績が顕著と認められる者を日本観光振興協会中国支部長表彰へ推薦する。

IV 物産振興事業

1 晴れの国おかやま館の運営

年間を通じて、県産品のPR及び展示販売を行うとともに、マーケティング分析により、店舗・商品の魅力度向上を図る。また、店舗リニューアルに向け、中長期的な改善策を検討・実施する。

2 オンラインショップによる販売強化

「晴れの国おかやま館 オンラインショップ」を活用し、県産品の魅力やストーリーを発信しながら、「岡山観光WEB」との連携による新規顧客開拓や販売促進を図る。

3 ふるさと納税返礼品事業の取扱い

岡山県及び市町のふるさと納税返礼品取扱いを引き続き行うとともに、新たな自治体へ働きかけ、事業の拡張に取り組む。

【令和6年度 取扱い予定自治体】

岡山県、岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、井原市、瀬戸内市、浅口市、和気町、里庄町

4 伝統的工芸品振興事業

(1) 伝統的工芸品イベントの開催

国及び県指定伝統的工芸品の普及啓発及び販路開拓を図るため、店舗及びオンラインショップにおいて、展示販売やPRを行う。

【岡山県伝統的工芸品】

勝山竹細工、備前焼（以上国指定）

手織作州絣、津山箔合紙、倉敷はりこ、撫川うちわ、備中和紙、高田硯、がま細工、烏城紬、虫明焼、津山ねり天神、郷原漆器（以上県指定）

(2) 岡山駅の展示コーナーの運営【県委託事業】

JR岡山駅新幹線構内コンコースにおいて作品や説明パネルなどを展示し、本県の伝統的工芸品の魅力を県内外の多くの人に伝える。

V 収益事業等

1 広告収益事業

(1) 岡山観光WEBへのバナー掲出

「岡山観光WEB」へのバナー広告を会員等から募集し有料掲出することでサイト運営の安定化を図る。

(収入見込 2, 893 千円)

(2) 観光コルトンへの広告掲出

市町村との共同PRの場である岡山駅前地下道の電照パネル（観光コルトン）22面について、企業広告を掲出し運営の安定化を図る。

(収入見込 1, 100 千円)

(3) 観光支援自動販売機の活用

コカ・コーラボトラーズジャパン（株）と連携して設置している観光支援自販機の売上の一部を寄付金として事業に充当する。また、新たな設置候補地について情報収集を行う。

(設置場所) JR岡山駅前、岡山後楽園、吉備路風土記の丘駐車場など計
13ヶ所

(収入見込 2, 100 千円)

2 不動産管理事業

(一社) 岡山県産業貿易振興協会から引継いだ所有土地2筆の賃貸事業を行う。

・岡山市北区田町一丁目3-122 宅地 197. 37 m²

・岡山市北区田町一丁目3-102 宅地 78. 49 m²

(収入見込 4, 080 千円)

VI 観光キャンペーンの推進

県・市町村等と連携して、晴れの国おかやま観光キャンペーンの事業を企画・実施し、全県的な誘客を目指す。

➤内容は別紙「令和6年度の観光キャンペーン概要」参照

【参考】今後予定されている主要イベント等

2024年	3月～	瀬戸内海国立公園指定90周年記念行事
	5月	第74回全国植樹祭岡山2024
	9月～11月	森の芸術祭 晴れの国・岡山
		晴れの国おかやま観光キャンペーン
2025年	4月～10月	大阪・関西万博
	春・夏・秋	瀬戸内国際芸術祭2025